

設 計 説 明 書

木竹の伐採

行為の区分	行為の概要		※摘要	
1 森林地内の伐採	伐採の目的			
	伐採区域面積	m <sup>2</sup>		
	伐採区域の林相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林		
	疎密度			
	伐採区域の林齢又は林齢範囲			
	伐採量	m <sup>2</sup>		
	伐採主要樹種			
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐		
	伐採後の跡地の処理方法			
	隣接地の現況			
2 森林地外の伐採	(1) 集団をなす木竹の伐採	伐採の目的		
		伐採区域面積	m <sup>2</sup>	
		伐採区域の主要樹種		
		伐採区域の樹齢又は樹齢範囲		
		伐採量	本 m <sup>2</sup>	
		伐採主要樹種		
		伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐(択伐率 %)	
		伐採後の跡地の処理方法		
		隣接地の現況		

(2) 立 木 竹 の 伐 採	伐 採 の 目 的					
	樹 種 名	樹 齢	樹 高	胸高直径	本 数	
		約 年	m	m	本	
		約 年	m	m	本	
	約 年	m	m	本		

**【備考】**

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 「疎密度」は、樹冠投影面積の10分比で表してください。
- 3 「伐採後の跡地の処理方法」については、植栽、放置等を記入してください。
- 4 「隣接地の現況」については、土地の状況並びに木竹、建築物、工作物等の有無及びその種類等を記入してください。
- 5 「択伐率」とは、伐採区域における総材積に対する択伐量のことです。
- 6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは、各幹直径の合計70パーセントを採り、1.3メートルのところが枝の分れ目であるときは、すぐ下部の寸法を採用してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は記入しないでください。